

『移住・定住 もちつき地域交流会』



1月17日(土)、移住者や移住希望者と地域の皆さんとの交流の場として、もちつき地域交流会を開催しました。白を囲み、声を掛け合い、餅をつきながら自然と会話も盛り上がり、餅をつきながら自然と話を越えて、会場が笑顔いっぱいになりました。この地では、このように環境に優しい世界が生まれています。「地域が皆を、皆が地域を支え合う」改めて鬼石地域の素晴らしさを感じた一日となりました。これからも、多くの人が自然に寄り添い、力を合わせる街であり続けられますように。

たかお新聞

|| 地域おこし協力隊 活動報告 ||

1月号

2026.1.27

[制作]

鬼石総合支所
地域おこし
協力隊



「草だらけになっている畑が忍び難くて…」空き家調査を通じて知り合った方々から、そんな思いとともに休耕地を託される機会が、徐々に増えてきました。

草を刈り、畝を立て、かつて育てられていた作物を無農薬で再び栽培する。少しずつですが、鬼石の畑が息を吹き返しています。

そして、都心から訪れる多くの移住希望者が憧れる、田舎で暮らし、安心・安全な食を自給すること。その実現を支える支援事業の構築に向けて、今、準備を進めています。

鬼石発祥『オニス』開発中



空き家対策、休耕地の復活に続いて、次はスポーツ分野に取り組みます。鬼石発祥の新たなスポーツとして、卓球とテニスの中間を狙った「オンボードテニス(オニス)」を考案しました。年齢や技量を問わず、誰もが楽しめる競技の誕生を目指しています。これから、有志を募り協議会を設立する予定です。

編集後記

「おにしん家登録 27軒。目標まで、あと一步。」

【編集担当

星野 貴男】